

21・未来クラブ

明日の富士見市を創る政策提言

2004年2月発行

新たな「まちづくり」を目指して!!



工事進む鶴瀬東通り線 (ヤオコー先)

現在、市では市民要望実現のため、火葬場・斎場建設を始め、鶴瀬駅東西の区画整理事業や、団地建て替えによる西小・上沢小の統廃合など、教育・環境・福祉の充実のために多くの財源を必要としています。しかし、市では既に約475億円の借金を有し、これらの要望を実現した場合、更に莫大な借金を背負うことになると思われます。国は今後大幅な補助金の削減を考えています。市の税収入も、長引く景気の低迷により、税収増は見込めない状況もあります。これらの問題を解決する手段として、国の特例債（約400億円）や支援債が活用できる新たな枠組みでの合併が、今強く求められています。

21・未来クラブは、会派結成以来、早3年が経過しようとしています。この間私達は富士見市の将来を見据え、一貫して2市2町の合併を積極的に推進してきましたが、白紙という結果に終わり、大きな衝撃をうけたところであります。

現在、市では市民要望実現のため、火葬場・斎場建設を始め、鶴瀬駅東西の区画整理事業や、団地建て替えによる西小・上沢小の統廃合など、教育・環境・福祉の充実のために多くの財源を必要としています。

その大震災の教訓から「人と人のつながりを深め、敏捷果敢な行動ができるコミュニティ作りに尽きる。」として、市民主体の復興への取り組みをしている神戸・御藏地区に視察研修を行いました。災害の備えと切さと、それを支える都市計画というハド面からの震災に強いまちづくりの必要性について考えてみると、

安心・安全のまちづくりの一層の推進を

を知ることができました。当市においても、年度内に策定予定の新・地域防災計画とともに、密集住宅地での防災空地、防災広場や避難道路の整備など多角的な視野に立った取り組みが望まれます。

一方、安全神話の崩壊が言られて久しくなっていますが、最近は少年少女が巻き込まれる凶悪事件が後を絶ちません。当市においても例外ではなく、私達は安全な登下校確保のためとして市長・教育委員会に「市内小中学校の全児童・生徒への防犯ブザーの貸与制度」導入の申し入れを致しました。

21・未来クラブは、こうした震災や防犯対策を始めとして一層の安心・安全のまちづくり推進に向かって発言・行動してまいります。

21・未来クラブ ～燃える政策集団～

星野 信吾 ほしの しんご

昭和30年4月1日生まれ
鶴馬2-21-20 Tel.251-2386
e-mail mr.shingo@nifty.com
21・未来クラブ代表
議会運営委員会副委員長
文教福祉常任委員会委員長
合併調査特別委員会委員



細田 英夫 ほそだ ひでお

昭和25年3月29日生まれ
西みずほ台1-27-3 Tel.254-1620
21・未来クラブ副代表
総務常任委員会委員
都市計画審議会委員



柳田 政男 やなぎだ まさお

昭和23年11月20日生まれ
羽沢3-2-6 Tel.251-0474
富士見市議会議長
建設環境委員会委員
志木地区衛生組合議会議員



関野 兼太郎 せきの かねたろう

昭和25年12月25日生まれ
水谷東1-2-10 Tel.255-0506
http://www.k-sekino.com
e-mail kanetaro@nifty.com
文教福祉常任委員会委員
志木地区衛生組合議会議員



吉野 欽三 よしの きんぞう

昭和31年10月19日生まれ
東大久保85 Tel.251-6565
建設環境常任委員会副委員長
国民健康保険運営協議会会長代理



星野 光弘 ほしの みつひろ

昭和32年8月1日生まれ
鶴2-13-12 Tel.251-0737
e-mail mickeyhoshino@aol.com
総務常任委員会委員
入間東部衛生組合議会議員
合併調査特別委員会委員



共に考える環境問題



三重県名張市行政視察

いく昨今、その保全の重要性を認識し、一貫して市に対し施策・事業の提言を行っています。昨年度は富士見市環境条例に基づく、環境に関する事項の調査研究を目的とした環境特別委員会の設置に積極的に取り組んできました。委員会の中では、

①緑の基本計画見直しの際の提言
②今後の環境行政に対する提言
③環境美化推進条例(案) 同施行規則(案) 等について協議をしてきました。

21・未来クラブでは、議会(議員)は市行政のチェック機構や市民の声の代弁者というだけでなく、身近な条例などを提案することも必要と考えています。特に環境問題においては個々のモラルの問題もあり、また経験に基づいた広い知識・智恵を授けて頂けるよう、市民・企業の協力が不可欠です。これからも市民の声を反映した市民参画の「協働のまちづくり」を目指す為、共に議論し行動する会派(議員)として活動してまいります。

4つ目は、将来策定したビジョン、諸施策の実現を推進させる組織・人づくりに取り組むべきです。特にソフト的事業を展開するには「マチづくり役場」、「TMO」等の行政に頼らない仕掛けで、より現場に近いところで計画・実践し

明日を支える商工業政策

21・未来クラブ 行政視察報告

■平成15年7月16日(水)～17日(木)
●「夢づくり地域予算制度」について

三重県名張市

削減案にも限界があります。富士見市明日を支えるために産業の振興活性化策を事業者、市民と共に考え、実践することが解決のシナリオです。

商工業振興活性化の4つの方針

①商工会・事業者・消費者・行政との連携、連絡の強化。
②新しい視点での商工業活性化のためのビジョンづくり。

③積極的に自助努力する商店街、事業者への支援策の充実と事業者の覚悟。

④計画・実践する組織、人づくり。

最初に行政と事業者が互いに協力、問題の解決に努力する事。更に消費者も含めた3者の連携、連絡の強化は重要で、開かれた議論の場と様々な考え方を受容する心を持つことです。

次に、市は組織全体で取組み、更に前段の議論を踏まえ、前向きで新たな視点で産業振興ビジョンを作成するべきです。取組みが始まつた中心市街地活性化基本計画策定に向けた諸施策を評価し、その成果に期待をしています。

3つ目、事業者の側にも事業の成長と地域の発展に貢献して行くという責任と覚悟が必要です。そして、自助努力する事業者、商店会に具体的な支援策を提供し、その育成を図ることです。

4つ目は、将来策定したビジョン、諸施策の実現を推進させる組織・人づくりに取り組むべきです。特にソフト的事業を展開するには「マチづくり役場」、「TMO」等の行政に頼らない仕掛けで、より現場に近いところで計画・実践し

○センターの設立、市内全小学校区にまちづくり協議会の組織化と市民100人で構成する委員会等が基礎になりエコマークの導入時には力になっていた。

●地域通貨“おうみ”について

滋賀県草津市

平成15年2月13日(木)

市民・地域共同体が発行する通貨、共通の価値実現や特定の問題解決に使われる仕組み。

まちづくりや市民活動・環境・福祉・商店街の活性化等地域の人々が能力やモノなどを持ちよって内発的で持続的な地域発展を目指すといった共通点がある。

発行している地域通貨

- ①「おうみ」「おうみありがとう券」
- ②「びわこづち」等

●「教育行政改革」について

愛知県犬山市

犬山市では、「自分のまちの子供は自分で育てる」を基本理念として、積極的に教育行政改革に取り組んでいる。

①教育委員会の改革——市長部局と連携強化、教育委員会組織の見直し。

②学校の改革——授業づくりを大切にし

た「学びの学校づくり」を最重要課題と位置付け授業改善に取り組んでいる。

③家庭・地域の改革——学校と保護者、地域住民との協力連携強化。

■平成15年2月12日(水)～13日(木)

●工コマネー“ZUKA”について

兵庫県宝塚市

①ボランタリーな活動をポイントに置き換える

②サービスの交換

③地域内での流通

地方分権の流れの中で行政の施策と同時に市民によるまちづくりが進められてきた。

平成7年の阪神淡路大震災によるボランティア活動から生まれた宝塚N.P

お知らせ

21・未来クラブはホームページを開設しています。
ご意見、ご希望をお寄せください。
また、5月中旬に「21・未来クラブと語る会」を企画しています。
会場は鶴瀬西地域に建設中の名久保集会所を予定しています。
詳細については会派議員またはHPをご覧ください。
ホームページのURLは
<http://www.geocities.com/WallStreet-Stock/4784/>

